

プレスリリース

2024年1月10日
国境なき医師団 (MSF)

ガザ：避難所への砲撃で MSF スタッフの子どもが死亡——無差別な暴力の停止を

パレスチナ・ガザ地区で 1 月 8 日、国境なき医師団 (MSF) のスタッフが避難する建物が砲撃を受け、スタッフの 5 歳の娘が命を落とした。MSF は民間人に対する暴力を最も強い言葉で非難する。

100 人以上が避難する場所に

1 月 8 日の朝、ガザ地区南部のハンユニスで、MSF スタッフとその家族 100 人以上が避難している建物の壁を、戦車から発射されたとみられる砲弾が突き破った。これによりスタッフの 5 歳の娘が重傷を負い、ガザ欧州病院で手術を受けたが翌日に亡くなった。他にも 3 人が軽傷を負った。

ガザで MSF のプロジェクト・コーディネーターを務めるトマ・ローバンは、「スタッフの家族がまた 1 人命を落としたことに憤るとともに、深く悲しんでいます。民間人への攻撃は容認できないものであり、ガザのどこにも安全な場所がないということを改めて示しています。爆発は着弾から少ししてから起きました。もっと早く爆発していたら、さらに多くのスタッフやその家族が犠牲になっていたでしょう」と述べる。

無差別な暴力の停止と停戦を

MSF はイスラエル軍に対し、ガザ欧州病院近くのこの建物が MSF スタッフとその家族の避難所であることを事前に通知しており、イスラエル側からは退避勧告は出されていなかった。MSF はこの砲弾の出どころを確認できていないが、イスラエル軍の戦車が使用するものに似ている。MSF はイスラエル当局にさらなる説明を求めている。

戦争開始以来、4 人の MSF のスタッフが犠牲になり、家族の多くも亡くなっている。

MSF は、ガザにおける即時かつ持続的な停戦を改めて要求する。民間人に対する無差別な暴力は、今すぐやめなければならない。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平、山田瑞穂

携帯：080-2277-6819

E-mail: press@tokyo.msf.org <https://www.msf.or.jp>

メディア向け X(旧ツイッター)アカウント：@MSFJ_Press